

第 8 区

定数 14 名

候補者 14 名

候補者氏名（受付順）

1. 氏名 2. 生年月日 3. 主たる勤務地 4. 経歴 5. 抱負 6. 現職/新任/再任

1. 池上 徹 2. 1968/12/26
3. 東京慈恵会医科大学 外科学講座 肝胆膵外科
4. 1994 年九州大学卒業, 2004 年米国ベイラー医科大学移植外科フェロー, 2012 年九州大学消化器・総合外科講師, 2020 年東京慈恵会医科大学消化器外科教授
5. 私は日本外科学会国際委員会, 保険診療委員会にて委員を務めてまいりました。引き続き日本外科学会の発展と会員の皆様のために全力で尽くしてまいりたいと思います。
6. 現職

1. 橋本 雅司 2. 1956/11/21
3. 虎の門病院
4. 1982 年東京大学医学部卒業
1982 年東京大学医学部附属病院第 2 外科
1983 年三井記念病院外科
1991 年ミシガン大学外科研究員
1993 年東京大学医学部附属病院第 2 外科
1994 年虎の門病院消化器外科
5. 外科医希望者の減少, 医師の働き方改革, 女性外科医の活躍など外科を取り巻く変化は大きく, 若手の価値観の変化にも対応しなくてはならない。臨床医の育成に長年携わってきた経験を活かして学会に貢献していきたい。
6. 現職

1. 横山 登 2. 1963/12/3
3. 昭和大学江東豊洲病院
4. 1990 年昭和大学医学部卒業
1997 年～1999 年 St.Marks Hospital (英国) 留学
2017 年昭和大学江東豊洲病院 消化器外科教授
2023 年昭和大学江東豊洲病院 病院長
5. 外科卒後教育の更なる構築・充実及び外科医不足と地域偏在への対応は外科医の努力と創意が不可欠であり外科基盤学会としての立場を整え, 若手外科医の育成と本学会の発展に貢献したい。
6. 現職

1. 海道 利実 2. 1963/3/18
3. 聖路加国際病院消化器・一般外科
4. 1987 年京都大学医学部卒業
1996 年同大学院医学研究科博士課程修了
2001 年大津市民病院外科医長
2009 年京都大学肝胆膵移植外科・臓器移植医療部准教授
2019 年 10 月聖路加国際病院消化器一般外科部長
5. 人材育成と diversity なくして日本外科学会の発展はない。私は人間力を含めた外科医教育を行い, 頑張っている人を正しく評価し, 次世代の外科を担う臨床と研究のバランスが取れた輝く“人材”を育てたい。
6. 新任

1. 山内 英子 2. 1963/3/28
3. University of Hawaii Cancer Center
4. 順天堂大学卒業, 聖路加国際病院外科レジデント, Hawaii 大学外科レジデント, 集中治療フェロー修了後, 聖路加国際病院乳腺外科部長, 副院長, 現在 Hawaii 大学がんセンター教授, 国立がんセンター理事
5. 代議員 2 期目として, 今までダイバーシティ委員会や邦文誌編集委員会委員としての経験や, 現在, アメリカでの臨床や教育を行っている立場から, より世界的視野からの働きに貢献させていただければ幸いです。
6. 現職

1. 山下 裕玄 2. 1973/11/17
3. 日本大学病院
4. 1998 年東京大学医学部卒 関東労災病院外科, 茨城県立中央病院, 国立がんセンター中央病院を経て 2013 年から東京大学医学部附属病院胃食道外科講師, 2021 年 1 月より現職の日本大学医学部消化器外科教授
5. これまで私は日本外科学会英文誌編集委員として多くの勉強の機会を頂いて参りました。Sustainable な外科診療体制構築に向けて, これからも本学会の更なる発展のため微力ながら貢献したく存じます。
6. 現職

1. 國原 孝 2. 1964/9/30
3. 東京慈恵会医科大学 心臓外科学講座
4. 1991年北海道大学卒
以後北海道大学第二外科・循環器外科関連施設
2000-2003, 2007-2013年ドイツ・ザールランド大学胸部心臓血管外科
2013年より心臓血管研究所
2018年より現職
5. 9年間のドイツ勤務を経て帰国後は大動脈弁形成術の普及に腐心。現職では東京都急性大動脈スーパーネットワークの重点施設として大動脈緊急症の治療にも貢献。今後は日本外科学会の発展のために尽力する所存です。
6. 現職

1. 衛藤 謙 2. 1967/10/26
3. 東京慈恵会医科大学外科学講座
4. 平成4年東京慈恵会医科大学卒業，同大学研修
平成6年同大学外科入局
平成13年カリフォルニア大学サンフランシスコ校留学
令和3年東京慈恵会医科大学外科学講座消化管外科分野担当教授
令和5年同講座統括責任者
5. 外科学発展のため、若手外科医の確保および魅力ある卒後教育システムを構築したいと思います。また働き方改革導入に合わせた外科医療の体制構築や、学問的発展のための臨床研究促進に尽力してまいります。
6. 現職

1. 野木 裕子 2. 1965/6/24
3. 東京慈恵会医科大学 外科学講座
4. 1991年 新潟大学医学部卒業
1993年 東京慈恵会医科大学外科学講座
2002-2005年 ハーバード医科大学で研究
2018年 同講座准教授，同大学附属病院乳腺甲状腺内分泌外科部長
5. 学生教育，技術，研究における外科医の育成，外科医師の効率のよい働き方改革，女性外科医師のキャリアの支援，医師不足エリアにおける診療支援に取り組みたい所存でございます。
6. 現職

1. 大塚 崇 2. 1971/11/14
3. 東京慈恵会医科大学
4. 1996年慶應義塾大学卒業，1996年慶應義塾大学外科，2009年ミシガン大学胸部外科臨床フェロー，2015年慶應義塾大学呼吸器外科准教授，2018年東京慈恵会医科大学呼吸器外科教授
5. 若手外科医の育成，国際化，外科医の待遇改善，外科医の地位向上に貢献いたします。臨床，研究，教育，社会貢献を基に日本外科学会の発展に尽力する所存です。
6. 現職

1. 武井 秀史 2. 1968/2/25
3. 昭和大学外科学講座呼吸器外科学部門
4. 1993年浜松医科大学卒業
1993年浜松医科大学第1外科
1996年国立がんセンター中央病院
2001年横浜労災病院
2004年杏林大学外科（呼吸器・甲状腺）
2019年昭和大学外科学講座呼吸器外科学部門教授
5. 本会発展のため尽力して参ります。
6. 現職

1. 大木 隆生 2. 1962/8/12
3. 東京慈恵会医科大学
4. 1987年東京慈恵会医科大学医学部卒業，1994年同大学大学院卒業，2005年米国アルバートアインシュタイン医科大学外科学教授，2006年東京慈恵会医科大学血管教授，2023年第123回外科学会主宰
5. お陰様で第123回定期学術集会を盛会裏に終えました。今後も前会頭として第123回のテーマ「より高くより遥かへ」に込めた外科医の待遇改善，地位向上，より高い治療効果等を追い求め外科学会を遥か彼方へ導く所存です。
6. 現職

1. 藤川 葵 2. 1986/5/26
3. 厚生労働省（聖路加国際病院から出向中）
4. 2011年 久留米大学卒業，聖路加国際病院臨床研修医
2013年4月～2021年1月 同院 消化器・一般外科
2020年4月～2022年3月 聖路加国際大学公衆衛生大学院
2021年2月～厚生労働省
5. 消化器外科の熱い修練の経験と公衆衛生学の知見を生かし，現在，厚生労働省で医師の働き方改革を担当しています。行政経験を武器に，外科学会と外科医の，夢と希望にあふれる未来づくりのために全力を尽くします。
6. 新任

1. 青木 武士 2. 1968/11/16
3. 昭和大学医学部外科学講座消化器一般外科学部門
4. 平成5年昭和大学医学部卒業後，同大学第2外科に入局。
平成11年より3年間米国に留学し，平成23年昭和大学医学部消化器・一般外科准教授。
平成30年診療科長を経て，令和3年より主任教授となり現在に至る。
5. 外科医不足の中，多くの医師が外科学・治療に興味を持ってもらえるように環境整備に努めてまいります。また，先進的な低侵襲外科的治療の提供，技術普及に粉骨細心尽力してまいりたいと考えております。
6. 現職